



WEBにも掲載しています

大崎第一
地域ニュース



はなぐるま

第174号

2024.12.20 発行

編集 はなぐるま編集委員会

〒141-0031 品川区西五反田 3-6-3 TEL:3491-2000

sakile@city.shinagawa.tokyo.jp FAX:3491-2002

発行元 大崎第一地域センター

かるたに見るわが街、しながわ⑤

品川区には「しながわ歌留多」「品川ふる里かるた」の二つのかるたがあります。今号では、区内全般の歴史や文化を対象としている「しながわ歌留多」を紹介させていただきます。

な しながわ歌留多 並木道 歌舞伎に残る かむろ坂

江戸時代前期、鳥取藩士平井権八は同じ藩の侍を斬って浪人となりました。その後江戸に出て辻斬り強盗を働きますが、その罪で1679年に鈴ヶ森刑場で処刑され、目黒の冷法寺に葬られました。権八と恋仲であった吉原の遊女小紫は、権八の処刑の報を聞いて店を抜け出し、冷法寺の墓前で悲しみのあまり自ら命を絶しました。戻ってこない小紫を心配して探しにきた下女の禿（かむろ）は、この地で賊に襲われそうになり、桐ヶ谷二つ池に飛びこんで自害してしまいました。この禿を憐れんだ地元ではいつとはなしに「かむろ坂」の名が生まれたそうです。またこの平井権八（歌舞伎名は白井権八）と遊女小紫の悲恋は同時代の脚本家の鶴屋南北作の歌舞伎「浮世柄比翼稲妻」（うきよつかひよくのいなづま・1823年初演）で有名になりました。そして目黒不動尊には今も「比翼塚」の石碑が残されています。なお、かむろ坂は現在では桜並木的美しさで品川百景に選ばれており、毎年のように桜まつりが開かれています。

（編集長 久保田）



は しながわ歌留多 花筏 染まる人波 目黒川

花吹雪の舞う頃になると、目黒川の川面をピンクに染めて大量の花筏が流れます。はらはらと舞う岸辺の桜とともに流れる花筏の両方を一度に楽しめるのは目黒川の春の風物詩といえます。また11月中旬から1月中旬にかけて大崎橋から居木橋まで目黒川の兩岸の夜空が約35万球のLEDライトで桜色に染まります。花筏ではありませんが、川面に映える冬の桜もとても綺麗です。お近くにお越しのせつは是非お立ち寄りください。

（編集委員 服部）



ひ しながわ歌留多 百反坂 昔は階段 百段坂

大崎2〜4丁目、西品川3丁目、戸越1丁目に面する「百反通り」。昔、この坂は階段だったため「百段坂（ひゃくだんざか）」と呼ばれていましたが、路面が平坦になり、名称が「百反坂（ひゃくだんざか）」として残りました。昭和43年頃に「百反隧道（ひゃくだんすいどう）」と「百反歩道橋」ができるまでは、大崎駅付近の坂下に踏み切りがありました。また、百反歩道橋の付近は昭和7年まで「百反耕地」と呼ばれた田園地帯でした。

現在の百反通りには、マンション、飲食店、オフィスビル、医院、工務店、床屋、銭湯などが並びます。地域の人々の生活の一部として、懐かしさと新しさが共存する通りとなっています。（編集委員 古郡）



大崎第一地域センターでは、「はなぐるま」のほかに SNS やサイトで、地域の様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください！

※後日、地域共創メディア「大崎×五反田 LINK」にカラーの記事が掲載されます。



X (旧: Twitter)
@osakidai1



Instagram
osakidai1



大崎×五反田 LINK
OSAKI x GOTANDA LINK

地域共創メディア
『大崎×五反田 LINK』

